

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会議等結果報告書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	1 7 3
		決裁期日	平成 2 2 年 8 月 1 0 日
名 称	上富良野町協働のまちづくり推進委員会（第 3 回）		
日 時	平成 2 2 年 7 月 2 7 日(木) 午後 7 時 0 0 分～午後 8 時 5 0 分		
場 所	上富良野町役場 3 階第 2 会議室		
出席者	委員 1 1 人 町民生活課長、事務局 2 人 合計 1 4 名		

内 容

[進行：町民生活課長]

町民生活課長から、欠席連絡のあった委員について報告。

あいさつ

三島会長： 今回で委員会も3回目を向かえた。前回は課長も不在であったので、課長からの意見も聞きながら会議を進めたい。

議題

1 協働のまちづくり基本指針の策定について

(1) 今後のスケジュール

吉岡主幹から今後のスケジュールについて説明。

町民生活課長： 前回もスケジュールがどうなっているか、実際に書いたものがなければイメージが湧かないという意見が多かった。今回このようなスケジュールで進めさせていただきたい。また、概要版は金沢市のもの、基本指針は大分市のものをイメージして作りたいと思っている。

三島委員： もっと余裕を持ってもいいのではないか。

町民生活課長： 少しでも早く、住民会などで行っている活動やボランティア活動が協働ということを知りたいと考えている。スケジュール的には厳しいかもしれないが、すでに素案も形ができていますので、これを見直し、読みやすい形にさせていただきたい。

三島会長： 1年目の予定はわかったが、2年目はどうなっているのか。

町民生活課長： 2年目は、協働でできる事業かを評価する事務事業評価を職員で行っており、それらの事業を本当に協働で行えるかどうか評価を行う。町長も言っているが、難しい内容にすると取り組めないと思うので、今すでにやっていることから始めていきたいと思う。自治基本条例も5年ごとに見直しを行うということなので、それに併せて基本指針も見直ししていくべきだと思う。

持安委員： 第7回目で、概要版の協議を行い、第8回目で決定するようだが、この委員会だ

けでは無理だと思う。ただ、事務局がその間に協議を踏まえながら概要版の事務局案を出していただき、8回目を迎えると理解しているのだがそれでいいのだろうか。

町民生活課長： そのような形にしたい。年内に配付とすると12月では遅すぎるので11月に配付したい。逆算すると多少厳しいかもしれないが、基本指針の策定と平行しながら進めていきたいと思っている。

吉岡主幹： 準備委員会の時から、すでにこのように説明している。

瀬川委員： 前回参加していないが、議事録を読むとまだ動揺があるように思う。第1回会議の時にも言ったかもしれないが、全体的に急ぎすぎていると思う。持安委員が言ったように概要版を2回で決定してしまうのはどうなのかと思う。最初にあるスケジュールは大事かもしれないが、2年間任期があるのだからこんなに急ぐ必要はないと思う。委員会でやったことを実質1回で決めてしまって大丈夫かと思う。

町民生活課長： 概要版といっても基本指針の中で重要なものを抑えることになるので、全く関連のないものというわけではなく、基本指針を作りながら概要版も併せて作っていく形になる。1から概要版を作るわけではなく基本指針を作りながら概要版をつくることができるので、平行して進めていきたいと思う。また、昨年もそのような日程で進めている経緯もあるので、この日程で進めていただいた上で時間が足りなければまた協議していただくという形で進めていきたい。

持安委員： 委員の皆さんも、この日程を見れば厳しいということはわかれると思う。この委員会だけで行っているだけではなく、事務局にいかん概要版の提案をしていただき、それを見ながら委員会に参加するという手法でなければこれは厳しいと思う。また、来年度は現在行っている事業を、協働でできるかどうか仕分けるような作業になってくると思うので、そこに重きを置くような形になると思う。

三島会長： 素案の時は時間が足りなく、もっと伸ばしたいという意見もあったが、今回はどうだろうか。

瀬川委員： ゆっくりやったほうがいいと思う。

久我委員： パブリックコメントでどのぐらいの意見が上がってくるのか楽しみだが、意見が多ければ、もう少し話し合う時間も必要かと思う。

三島会長： やってみてということになる。今できるできないといっても仕方ない。

町民生活課長： 他の委員会では、計画を策定するのは大体5回くらいで終わらせ、報酬も5,000円程度としている。協働の準備委員会は18回も集まっていたので5,000円の報酬だったので気の毒だった。皆さん忙しい中、集まっていたので今回は報酬を10,000円と考え、1回1,000円で10回程度としたい。

久我委員： そういっていただくと嬉しい気もするが、1回や2回増えても文句を言うようなことはないと思う。それ以上にしっかり話し合いたい。

瀬川委員： 最後が決まっているばかりに、事務局案のとおりになってしまう委員会では意味がないと思う。

町民生活課長： すでに素案が完成しているので、それをベースにしていくことが基本となる。3回程度協議した上でどのくらいでできるか見えてくると思うので、10回の中で目安としてスケジュールを見てもらいたい。完成しなければ、回数を増やすことも考える。しかし、回数が増えてもいいものができるとは限らないので、事前に見てきていただき、持ってきた意見を言ってもらえればスムーズに進むと思う。会議とは別で大変かと思うが、事前に目を通していただきたい。

(2) 協働のまちづくり基本指針(素案)の読み合わせ及び意見交換

町民生活課長から協働のまちづくり基本指針(素案)の読み合わせの進め方について説明。

吉岡主幹が6ページから20ページまで読み合わせを行う。

<6ページから20ページまでの意見要旨>

平倉委員： 準備委員会の方はこれを作られたが、この委員会でこれを見直す必要があるのか。

吉岡主幹： 重なっている部分を整理したい。また、わかりづらい文になっているのでわかりやすい表現にしていきたい。準備委員会でやってきた方と今回から参加した方の立場の違いはあるが、客観的に見られるなど良い点もあると思う。

久我委員： 個人的な意見かもしれないが、まず、9ページの「(6)委託」の「行政が直接実施するよりも」という文は必要ないと思う。同じく3行目の「町の仕事について委託する形態」を「町の仕事を委託する形態」にしたほうがいいと思う。次に10ページの「(2)地域コミュニティは」のは5ページと似た内容なので、しつこいと思った。また、14ページの「(1)上富良野町の現状」の、9行目からの「しかし、このような取り組みは、～現状もあります。」という部分是否定的なので必要ないと思った。同じく否定の言葉が、15ページの、6行目の「しかし、まだまだ～現状です。」という風になっており、必要ないと思った。その他にも、の最初は否定的なのでよくないのではないかと思った。最後に17ページの初めに「これからの時代は～。」という部分があるが、そのような言葉も出てきているので、この一文は必要ないと思う。以上を検討していただきたい。

三島会長： 概要版の時にはもっと削らなければならない。

町民生活課長： 概要版はもっとコンパクトな形でしたいと思っている。

三島会長： もっと削らなければならないが、何回も書いてあるという趣旨の素案だった。否定的な部分で言えば、もっとたくさんある。14ページのにも「広がり欠けているのが現状です。」という文があるが、実際にボランティアを行っている人は良く思わない。

町民生活課長： 読んでみると理想が高すぎると思った。みんな何かをしなければならぬような印象を受ける。これでは、実際に活動を始めるのは難しいと思う。

吉岡主幹： 職員の行動指針での委託について説明。

松下副会長： 今、概要版を意識する必要はないと思っている。素案は基本指針の素案なので、概要版を作るときは、完成した基本指針のエッセンスを入れた概要版を作ればよいと思う。

吉岡主幹： 概要版を頭から離さなければ進まないと思う。あくまでも基本指針が出来上がった後に、概要版を作りたいと思っている。

松下副会長： 素案といってもハイレベルなものになっているので、これを生かしていくことを考えたい。素案を叩き台にして、素案を尊重しながらでなければ進まないと思う。

久我委員： そういった意識が、委員会の共通の意識になればよいと思っている。

松下副会長： 今は言葉一つにとらわれてしまうと先に進めない。もちろん進めていけばそういった整理も必要になってくる。

持安委員： 基本指針については、フルコースになるようにしたい。しかし、重複している部分については消していくことになる。また、久我委員からあった意見はどうだろうかという進め方もありだとも思う。

町民生活課長： 今回は皆さんの共通理解を得た中で次回から文章をチェックしようと思っている。まずは皆さんに読んでみた感想を言っていただきたい。

持安委員： 先ほど久我委員が言われたように、否定的な部分が多いと感じた。「8.上富良野

町の現状」の部分では、現状と分析についても書かれている。分析した結果、課題があり、それを解決するため、「9.協働を推進するための方策」につながる流れになっている。しかし、どい部分も確かにあるので、そういった部分を削っていきたいと思う。

松下副会長： 非常にカタカナ文字が多いことが気になる。若い人はわかると思うが、年配の方にはわかりづらい。認知されているカタカナ文字もあるが、私が読んでも意味がわからない言葉がある。もし違う言葉に置き換えることができるならそうした方がいいと思う。

吉岡主幹： ものすごく大事なところだと思う。別の言葉に変えられるなら、変えていきたい。

松下副会長： できる限り、基本指針を作る上では言葉遣いをよくするという心を心がけるといいと思う。

町民生活課長： 皆さんの感想を聞き、共通の意識をもてればいいと思っている。感想を言われていない方には感想を言っていたきたい。

島瀬委員： 別の会議が長引いてしまい、遅れてしまったことを報告。準備委員会では議員が参加した経緯と今回は外した経緯を教えていただきたい。また、協働のことを言われ始めたのは最近のことなのに、否定の部分が多い。

町民生活課長： 準備委員会に職員と議員が参加していたのは自治基本条例に議会や町の役割が入っており、準備委員会でも議員や職員が入っていたほうがいいということで入っていた。しかし、推進委員会は事務事業の評価の仕事も入り、議員が判断して行った事業を再度評価するわけにはいかないということで議員は入っていない。

吉岡主幹： 準備委員会では、ワークショップや読み合わせを行ったので6回で素案を策定した。しかし完成する前はもっと多かった。素案はきちんと項目の整理がなされていない。重複を削除してわかりやすくし、流れや組み方を変え、それを自分の言葉に置き換えるとさらにわかりやすいものになっていくと思う。

大内委員： 読んでもらって皆さんが分かりやすい文章を心がけ、現在行っているボランティア活動などを紹介し、やれることはやってもらうようにしていかなければならないと思う。また、他のところがやっていたら自分たちができるかわかる。

中澤委員： 女性協からの選出で、個人的な意見かもしれないが、女性は依存的で「自主的に」や「自己責任」といわれると関わらないほうがいいのではないかと思ってしまう。自分たちが行っている事業の内容を考えると協働的になっていると感じているが、より協働の意識を持って事業を行うことはいいことだと思う。皆さんが身近に感じて参加できることから協働を始め、もうすでに参加しているということを知りやすく紹介できるといいと思う。

町民生活課長： 確かに義務的な書き方になっているかもしれない。

松下副会長： 女性だけではないと思う。住吉住民会で言うと、一番身近ところで町内会に入っていないが、ゴミは捨てる人がいる。分別されていないゴミが出されることがあったので、袋に世帯で番号をつけるようにしているが、残るゴミは番号がついていないゴミである。女性や男性に関わらず、協働のまちづくりは、そういったところから解決していかなければならないと思う。

吉岡主幹： 4月から停滞しているが、自衛隊にも話をしている。自衛官の方で町内会に入っていない方もいるので、部隊の広報室のほうにもお願いしている。

町民生活課長： 町内会の構成にも問題はある。今は本町に住んでいるが、前は栄町に住んでおり、そこは20世帯ほどだったので、皆さんの顔がよく見えた。本町5丁目は140世帯もあるので花見と新年会があっても全員と話すことはできない。町内会がもっと小さい組織になれば、もっと話もできるようになると思う。

上村委員： 今は郡部でも住民会に入らない方がいる。地元にいる人はまだいいが、地方からの人は入らない場合がある。

吉岡主幹： 地域的に郡部だが、一般住宅が入っている地域もあり、そういう人は町内会に入らない場合もある。中には古くからいた人が住民会から抜けたということもある。

町民生活課長： 町内会に入っていないと広報が配られないので、ますます町の情報が入らなく、一緒に活動しようという雰囲気ができない。まずは町内会に入って皆さんに広報を見てもらえる状況を作ることが必要だと思う。

吉岡主幹： うちの町は町内会加入率が低い。特にアパートの方が入っていない場合が多い。

松下副会長： 住吉住民会もアパートができるまでは加入率100%だった。アパート全体が入らない場合がある。

吉岡主幹： 最初から会費が家賃に組み込まれている場合もあり、大家さんの意識で変わってしまう。

島瀬委員： 他の町から突然来た人もゴミの出し方など町内会に入っていないとわからないと思う。

松下副会長： 当然わからないので、分別せずに投げている場合がある。

瀬川委員： やれるところからやる、というようなところを入れたほうがいいと思う。写真や挿絵を入れたら良いと思う。また、8ページから9ページまで同じような構成で書かれている部分があり、ワンパターンになっていると思うので変えていくことが必要かと思う。

三島会長： 今回はこのくらいにして、次回から素案を直していく作業に入りたいと思う。

2 その他

次回会議は、8月13日（金）19時を予定する。

閉 会

[会議終了：20時50分]

上富良野町協働のまちづくり推進委員会 委員名簿

任期：平成22年6月29日から平成24年3月31日まで

3

	所属団体・機関の名称	氏名	備考	7月27日
1	住民会長連合会	上村 勉		
2	住民会長連合会	松下 力		
3	社会福祉協議会	持安 弘行		
4	NPO法人たんぼぼの会	三島 功士		
5	ふらの農業協同組合上富良野支所	瀬川 英樹		
6	商工会	境 一義		
7	生活安全推進協議会	島瀬 良一		20分遅刻
8	女性連絡協議会	中澤 正子		
9	リフレッシュ・マイタウン・かみふらの	奥田 哲也		
10	公募	大内 和行		
11	公募	徳武 良弘		
12	公募	久我 みち子		
13	公募	平倉 範子		